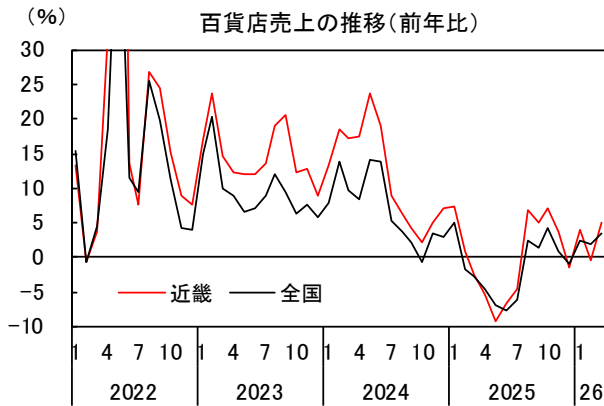
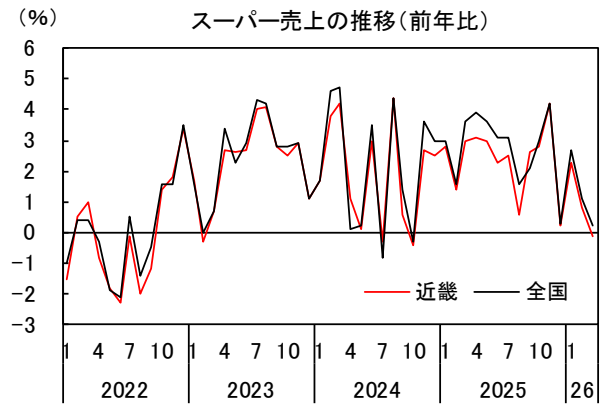


関西の景気トピックス【消費関連（26年3月）】

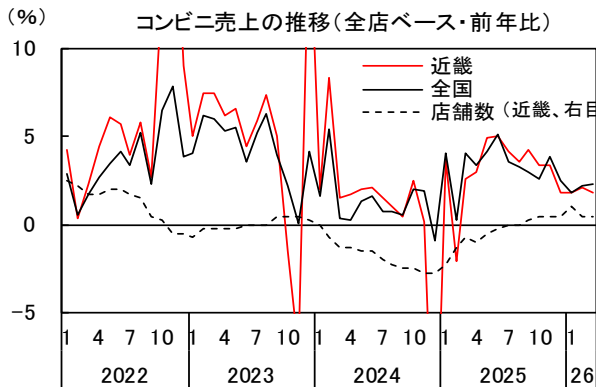
- 26年3月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス5.0%と2か月ぶりの増加となった。中国の渡航自粛は続いているものの、前年が円高の進行等で売上が悪化した反動もあり、今年は好調な動きとなった。一方、スーパー売上の3月は前年比マイナス0.1%と、消費者の節約志向などを背景に、17か月ぶりの前年割れとなっている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、3月は全店ベースで前年比プラス1.8%と13か月連続の増加となった。インバウンド消費の鈍化などもあり、ここ数か月は2%前後の増加と、かつてに比べると伸び率は低調となっている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の2月は、前年比マイナス3.5%と2か月連続の減少となった（3か月移動平均）。基調としての弱さがみられる。
- 各業界で売上が前年を上回る動きはみられるものの、インバウンド消費が力強さを欠く中、全体的に鈍い動きとなっている。ここへきて原油相場の高騰も始まったことで、先行きの不透明感がなお一層強まる形となっている。



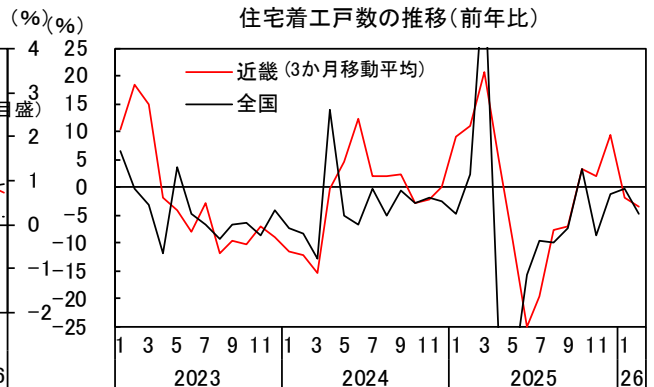
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」